

1年生から受験生へのメッセージ

2018年はシーズンを通じて多くの1年生の活躍がみられました。箱根駅伝プロジェクトが発足したのを知って、『慶應で箱根を目指したい』『自分達の力で慶應を箱根に連れていきたい』という強い思いを胸に抱いて入学してきた世代であり、保科コーチの指導の下、入学1年目から自己ベストを大幅に更新する選手が続出しています。今号のニュースレターでは、2019年度も更なる飛躍が期待されるそんな1年生達から、慶應の受験を考えている高校生達へのメッセージをご覧ください。



撮影 有川 秀明

杉浦 慧（法学部政治学科1年・成蹊高）

5000m 14'55"59（高校ベスト15'26"42） 10000m 30'46"87 ハーフマラソン 1'04'58

志望校の選定に際しては、いち早く競技に復帰したかったため、AO受験の結果が早く出る慶應を選びました。また、中高で強豪校にいなかったため、大学では人生で一度くらい厳しい環境に身をおきたいと思っていたところ、慶應箱根駅伝プロジェクトの発足を耳にして、入学したいという気持ちがより一層高まりました。

入学してみて感じるのですが、慶應には華があります。個性がとても豊かで毎日が刺激的です。また、慶應の競走部というチームも個性のある集団だと思います。僕が望んだ環境で、各々が自分の目標をきちんと設定し、その達成に向けて努力しています。何が面白いかというと、その方法です。自分たちのやり方があり、それぞれの道で進んでいるのは参考にもなります。切磋琢磨できるのが本当に良いと感じています。



撮影 有川 秀明

清水 拓哉（法学部法律学科1年・逗子開成高）

5000m 14'46"97（高校ベスト14'54"13） 10000m 31'50"43 ハーフマラソン 1'06'22

元々、慶應は何校かあった受験校のうちの一つに過ぎませんでした。しかし、慶應が箱根駅伝に向けた強化を始めることを知って、慶應が「受ける学校」から「行きたい学校」に変わりました。

実際に入学して、慶應は自由な大学であると感じています。学部の勉強に大きな時間をとられないので、空き時間を勉強も含めた様々な活動に割くことが出来ます。つまり、自分の将来のために自由に時間を使えるのです。

競走部は、規律の中に自由が存在するチームです。チームで行う練習は全て決まっており、多くのメンバーが合宿所で定められたルールのもとに生活を共にしています。しかし、練習は独自に調整することも許され、チーム内では先輩後輩の格差もなく、良い空気であると思います。



撮影 有川 秀明

鈴木 輝（理工学部1年・浦和高）

5000m 14'53"27（高校ベスト14'54"73） 10000m 30'41"04 ハーフマラソン 1'06"37

実をいうと慶應は第1志望の大学ではなかったのですが、パンフレットを送っていただいたり、箱根駅伝プロジェクトのことを知ったりして、以前から慶應に興味はもっていました。そのため、第1志望の大学に不合格になったときは、既に合格をいただいていた慶應に迷わず進学することにしました。競走部に入るかは最後まで悩みましたが、大学の4年間は今しか味わうことができませんし、後悔はしたくなかったので、競走部に入部して本気で箱根を目指す決意をしました。

慶應に入学して感じるの、慶應にはバックボーンの異なる多種多様な人がいるということです。良い意味で本当に個性豊かです。そのような雰囲気は競走部にもあてはまると思います。一人ひとりが個性を尊重して自分と向き合いつつ、先輩と後輩の仲が良く、一体感のある素晴らしいチームだと感じています。



撮影 古山 誠

小野 友生（総合政策学部1年・東北高）

1500m 3'46"97 5000m 14'20"57 10000m 31'12"46 ハーフマラソン 1'06'13

慶應を選んだ理由は、箱根駅伝プロジェクトに参加してチームで箱根駅伝を目指そうと考えたからです。東北高校の先輩である保科コーチは、新しいことに積極的に取り組むことが得意なので、慶應に入ったら楽しく陸上ができると思いました。

慶應は頭の良い人ばかりいるので、初めのうちは理屈っぽくてかたいイメージがありましたが、実際にははっちゃけたり遊んだりできて、ユーモアのある人がたくさんいる大学だと感じています。

慶應の競走部は、まだまだのびしろのあるチームだと思います。箱根駅伝プロジェクトの1年目から少しずつ結果が出ていっているので、いつか必ず箱根駅伝に出場することができるチームだと思いますし、意外と先輩後輩の垣根がなく仲が良く感じています。



撮影 有川 秀明

印藤 剛 (経済学部1年・慶應義塾高)

5000m 14'47"78 (高校ベスト15'05"14) 10000m 30'52"28 ハーフマラソン 1'07'52

慶應義塾高校への入学時は箱根プロジェクトは始動していませんでしたが、大学でも陸上を続けようと考えており、大学受験でのプランを気にする必要のない付属高校への入学を決めました。そして、高校2年のとき、保科光作氏のコーチ就任などを含む慶應箱根駅伝プロジェクトの始動を知って期待が高まり、競走部へ入部する決意が固まりました。

大学へ入学してみると、大学も慶應義塾高校と似た学生主体の雰囲気根付いていました。慶應競走部の長距離ブロックにも同じことが言えると感じています。保科コーチの指導では、選手の意見を尊重することが多いです。自由な環境でありながらも、やるべきことはしっかりやるチームであると感じています。

試合結果

流通経済大 長距離・投擲競技会 12/8 (土)	印藤 剛 (経1・慶應義塾)	3000mSC	9'23"14	関東インカレ2部B標準記録突破 PB
国土館大 長距離競技会 12/15 (土)	鈴木 輝 (理1・浦和)	10000m	31'17"19	PB
	杉浦 慧 (政1・成蹊)	5000m	15'08"30	
	金子 大将 (環2・明大中野)	5000m	15'24"85	PB
	森下 衆太 (理2・國學院久我山)	5000m	15'50"39	
	木村 太一 (総3・International School of Brussels)	5000m	15'53"69	
平成国際大 長距離競技会 12/22 (土)	小野 友生 (総1・東北)	5000m	14'22"85	関東インカレ2部B標準記録突破
	内藤 拓海 (商1・大東文化一)	5000m	15'04"66	
	司代 隼 (政1・希望ヶ丘)	5000m	15'07"80	PB
	前田 拓海 (法1・新潟)	5000m	15'08"64	PB
	金子 大将 (環2・明大中野)	5000m	15'28"13	
	前田 大河 (商1・新潟)	5000m	15'29"72	PB
	渡邊 亮 (理3・慶應湘南藤沢)	5000m	15'44"31	
	鈴木 輝 (理1・浦和)	10000m	30'41"04	PB
	杉浦 慧 (政1・成蹊)	10000m	30'53"06	
	田島 爽也 (政3・熊谷)	10000m	30'54"90	PB
	その他1名			

スケジュール

2月	5 (火) ~ 9 (土) 日吉合宿 10 (日) 八王子駅伝 17 (日) 金栗記念 熊日30キロ ロードレース (熊本県熊本市) 18 (月) ~ 21 (金) 富津合宿 (千葉県富津市)
3月	10 (日) 立川シティハーフマラソン (日本学生ハーフマラソン選手権) (陸上自衛隊立川駐屯地~国営昭和記念公園) 16 (土) 高校生向け長距離ブロック見学会 16 (土) ~ 21 (木) 日吉合宿